

## 【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。  
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。  
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。  
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能ですがあまり極端な使用はお控えください。  
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。  
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。  
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。  
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

**【重要】teacup\_byGMOのサービス終了について**

<思いやりのあるコミュニティ宣言>  
teacup\_掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。  
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

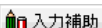
メール

題名

投稿

確認

内容



<IMG> youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

[\(詳細\)](#)

URL

[\[ ケータイで使う \]](#) [\[ BBSティッカー \]](#) [\[ 書込み通知 \]](#) [\[ 検索 \]](#)

キーワード: [旭川 情報 歴史](#) [\[ その他 \]](#)

検索

《前のページ》 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 《次のページ》

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

旭川空港の機能拡充を望む 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2013年 2月18日(月)22時09分6秒

[返信・引用](#)

1月中旬以降、旭川はまとまった大雪も降らず、楽ですねー。  
この1ヶ月間で数回程度の雪かき、それも比較的軽い雪かきで済んでるのでたいへんラッキーな思いです。  
12月から年始にかけて連日雪かきに追われた日々と比べると雲泥の差ですね。

しかしながら、このまま冬が終わるなどという甘い考えは持たないほうが良さそうです。  
現在までの累積降雪量は意外と少なく377センチ、1月の76センチはかなり記録的な少なさで、2月もまだ45センチに過ぎません。  
今冬の降雪量を例年並みと仮定すれば、少なく見積もっても今後まだ150センチやそこらは降る計算になります。  
少しずつ降ってくれば良いのですが、私は必ずまた来るであろうドカ雪を覚悟しています。

ところで、2週間も前のニュースソースで恐縮ですが、  
北海道新聞ローカル版に、旭川空港の今冬の降雪による欠航が、あの暴風雪が吹き荒れた1月3日の名古屋線1便のみと出ていました。  
この報道以降も吹雪模様の日はありましたが、インフォメーションを見ていた限りではその後も欠航はなさそうです。

ここで言う欠航とは、あくまで空港側要因（視界不良や除雪が間に合わない等）による欠航で、  
航空会社側要因（機材繰りや故障等）による欠航は含まれないと思いますが、  
それにしてもすごいですねー、旭川空港の除雪パワー恐るべしです。  
12月なんかは連日降り続いてたし、「今日は無理だろうな」と思われる日も多かったんですけどね。

1月3日未明の暴風雪では、除雪職員も出勤すらできず、空港近くに住む非番の職員を急遽集めて対応したそうです。  
でも、近くと言ったって空港の周りには数戸の農家以外に民家なんて見当たらないし、  
東神楽の市街からだとしても結構距離がありますよね。  
大半の道路が吹き溜まりで、クルマが殆んど役立つ状態に陥ってたのにならなくて・・・？

ある人から聞いた話では、あの日は航空会社の地上職員も出勤できなくて、  
実は旅客機というのは、緊急着陸以外はその航空会社の運行管理者がいないと着陸させてもらえないのだそうです。  
従って、あの日の朝一番で旭川空港に飛来した飛行機は、着陸許可が得られずしばらく上空旋回し、  
いよいよ新千歳へダイバートか・・・という時に何と！運行管理者の方が、住んでる東川から歩いて辿り着いたそうです。  
なんともご苦労な事です。遭難しなくて良かった。^\_^;

という事はおそらく、除雪職員も他の空港職員も徒歩で出勤の方が多かったのでは？

前後の便が遅れながらもちゃんと到着しているのに、何故か名古屋便だけが着陸できなかったというのは案外そちらが原因だったのかもしれませんが。  
すごい不思議なのが、そんな最中、朝一便に乗ろうとする乗客が何人かロビーに来ていたそうです。  
いったいどうやって空港までたどり着いたんでしょう???

旭川空港は厳寒多雪地の空港にも関わらず就航率の非常に高い空港で、以前から除雪の良さには定評がありました。  
降雪による欠航は過去5年間で僅か5便、2011年度はゼロだったそうです。  
つまり今冬の欠航が1便のみというのも特に珍しい訳ではなく、言わば平年並みという事ですよ。  
発着便数が少ないという事もあるでしょうが、それにしても全国トップクラスの就航率はすばらしい。

やはりこの大きな長所を活かさない手はありません。

冬の滑走路閉鎖が度々あって混乱する新千歳空港・・・今日もまた夕方から閉鎖されてるようです。  
この新千歳空港の代替可能な空港として、是非とも旭川空港の機能を拡充すべきだと思います。  
現状では新千歳に降りられない場合のダイバート先を定例的に旭川空港としているのはスカイマークのみのようなので。  
JALやANAは、最も利用の多い東京線などで大型機材を使用するため今の旭川空港ではキャパ不足です。  
滑走路も、冬は2500メートルでは足りません。

私もよく飛行機を利用しますが、過去に、最終便が欠航になったり、旭川ではなく千歳に降ろされたりした経験があります。  
しかしながら、何と言ってもショックなのは、旭川の上空まで飛んで来ていながらまた出発地に戻される時です。  
これをやられるくらいなら、最初から欠航するか、千歳に降ろされるほうが遥かにマシです。  
(女満別とか帯広に降ろされると逆に困るけど・・・)  
これと同じで、千歳に向かう飛行機の乗客も「まあ、旭川に降りられるなら戻されるよりいい」と思うはずですよ。

旭川と札幌・新千歳間は、道内においては最も交通の便が充実している区間です。  
これまではこの交通の便の良さと、近いが故に新千歳に利用客を奪われてきたと言われてきましたが、逆転の発想で、逆に千歳の客もこちらに頂くくらいの考え方があっても良いと思います。

もちろん、悪天候時の新千歳の全便を受け入れるなんて事は不可能にしても、1便でも2便でも多くの便を受け入れられる機能の充実を望みます。

Re: 男山自然公園 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 2月 5日(火)18時13分58秒

[返信・引用](#) [編集](#)

かんじさんへ

そうですね、遊園地と言うよりはレジャー施設と言ったほうが合ってますね。  
当時は既に旭山動物園が開園していましたが、それ以外の屋外レジャー施設といえば道北一円見廻してもこの男山くらいしかなかったと思います。  
ですから当初の何年かは休日にも何十人もアルバイトを雇うほど賑わってました。

そういえば「男山自然公園」の名は途中からではなく開園当初から名乗っていたのかもしれませんが。  
あと、入口で入園料を取るようになったのは既に遊園施設が廃れ始めてからの事ですが、今想えばその頃からカタクリ公園に転換すべく遊歩道の整備などを進めていたのかもしれませんが。  
私もその時期入園した事がないのと、古い話なので記憶違いがあったらごめんなさい。

でも、本業がけって楽ではなかったはずの男山が、商売抜きでこの山の環境を守り続けている事については最大級の賞賛をしたいと思います。  
ぜひとも駐車料金くらい払わせていただきたいと思うのは私だけでしょうか。(笑)

実は男山になる以前の突哨山も微かに記憶があります。  
たぶん5歳くらいの時だと思いますが、父親とその同僚の方に連れられて行ったのですが、マイカーなんて無い時代、どうやって行ったのかなどはぜんぜん覚えていません。  
単に遊びに行ったのか、山菜でも採りに行ったのか、わざわざあんな所まで何しに行ったのかも不明です。

覚えているのは、比布側の崖下(ちょうど祠の下辺り?)に一人一人が潜り込める程度の小さな洞穴(これにはアイヌ伝説があるようです)があったのと、  
笹藪の中の本道を登りきったところに今に残る祠があった事くらいです。  
今の祠は明らかにそれほど年数が経ってないので、比較的近年に建て替えられたものと思います。  
ただ狛犬が新しいのと古いのと2対あって、古い方はたぶん当時からのものではないかと・・・

私が覚えているのはそこで相撲を取っておもいきり遊んでもらったからでしょうね。  
もしかして祠を建て直したのも男山かな?

PS: グーグルアースで見るとゴーカートのコース跡がはっきり残ってますね。

Re: 男山自然公園 投稿者: かんじ 投稿日: 2013年 2月 4日(月)12時43分26秒

[返信・引用](#)

> [No. 706 \[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

おおー。  
さすがmomongaさん、男山公園の古い情報までお持ちとは。  
しかも実体験とて(^\_^)  
なるほどね、レジャー遊園地だったんですね。  
そういう意味では男山さんには悪いけど、醜悪な施設がなくなって自然公園が残って良かったです。  
年に一度、ほんの短い期間ですけどスプリングエフェメラルという早春植物の群落が見られるのは貴重な公園だと思います。  
それから先っちょのほころ?知りませんでした。  
今年行ってみる楽しみが増えましたよ、ありがとう。  
また、カタクリの群生という意味では、男山自然公園だけでなく、突哨山全体がカタクリの群生地なんですよ。  
<http://www.morinet-h.org/katakuri/>

Re: 男山自然公園 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 1月31日(木)20時28分56秒

[返信・引用](#)

男山が突硝山を所有したのはもうずいぶん古い話です。  
昭和44、5年頃だったでしょうか、最初あそこに遊園地モドキ？を作ったんですよ。  
ゴーカートやお化け屋敷やバザーガ砲などの遊園施設、それに流しソーメンや酒の醸造樽を小屋にしたジンギスカンコーナー  
etc...  
今は駐車場になっている辺りから先っちょの一角です。  
まあ、今考えるとお粗末な遊園地でした（失礼）

実は高校生になってすぐの夏休みに何日間かバイトした事があります（笑）  
比布側の崖下、石切場があった跡ではキノコ栽培なんかもやりましたね。  
遊園地のバイトという事で行ったんですが、最初は訳が分からないままにそのキノコ運びをやらされたりしました。

当時から日本酒は下降線の一途でしたから、おそらく経営の多角化というやつではないでしょうか。  
遊園地はその後何年か続いてましたが、その内に入口で入園料を徴収する方式になってからぜんぜん人が入らなくなったよう  
です。  
気が付いたら遊園施設はほとんど撤去されていて「自然公園」を名乗ってました。  
今考えるとカタクリが有名になってきたのはその頃からだと思います。

遊園地時代は今のような遊歩道はまだなくて笹藪ばかりだったと記憶しています。  
当初はどちらかと言うとカタクリが話題になったのは刑務所寄りの方で、  
旧遊園地に向かってだんだんと広がってきたような気がします。

一企業があそこまで手をかけているのですから、  
今でこそ100円でも200円でも入園料を取っても誰も文句は言わないと思うのですが・・・

ちなみに、あの山の先っちょの一番高いところにある小さな祠・・・  
あれはけっこう古いですよ～。  
いつからあるのか私も調べてませんが、男山があれをちゃんと残してくれたのは素晴らしい事だと思います。  
しかも造り直していますが、小さいながらも随所に手掘りを施したかなり凝った立派なものです。



男山自然公園 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 1月31日(木)13時26分27秒

[返信・引用](#)

毎年5月始め頃可憐な花を咲かせるカタクリの群生地として有名な男山自然公園。  
先日、会社でこの話が出まして、そのなかで「どうしてここを男山自然公園って言うんだろうね」という素朴な疑問が出ました。  
旭川で男山と言えばもちろんお酒で有名な会社ですが、何か歴史的な関係でもあるのだろうか？  
なんて思ったんです。  
で、ここでmomongaさんにでも聞けばわかるのかなあ、なんて思いながらとっとり早く男山にメールで問い合わせしてみました。  
「男山自然公園と御社の関係を教えてください」と。  
するとほどなくメールの返事が来まして。  
「男山自然公園は弊社が管理しております」とのこと。  
ありやうや、単純でしたね。  
でもなぜ男山さんがあの自然公園を管理するようになったのかまでは突っ込んで聞けませんでしたけど、、、。  
これって常識でしたか。

早く来い！ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2013年 1月28日(月)11時35分40秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

カールJPさんこんにちは。  
天気予報が当たらずに天気予想の方が良いとお言葉ナイスです、大笑いです。  
しかし、調べてみると気象庁でも予報と予想を使い分けているのですね。  
予想は未来を予想する事、予報は予想した内容を報じる事、なるほど。  
なので気象予報士は「予想した内容を大衆に報じても良いよ」という資格を得た人なんですね。  
でも、確かにあたらないので報じてはいけない予報士に格下げじゃ。  
まあ、最近は何年ぶりという異常気象の言葉が頻りに聞かれますので、過去の気象パターンに基づいた予想がなかなか当たらないのもわかりますけど。

最近知った気象知識として、  
岩見沢に毎年大雪が降るのは北西からの雪雲が積丹半島などの山々により束ねられて、石狩北部を通過し岩見沢地方に流れ込むからだと思います、が。  
確かにそれも大きな理由なのですが、それ以前に北西の筋状の雪雲が日本海を挟んだロシア沿海州の大陸の山脈で作られるときに、すでに岩見沢に向かって位置出しが出来ているって報告でした。  
岩見沢の皆さん、ご愁傷様です(^\_^)；

PS.  
今年はダイヤモンドダストがけっこう見られますが、一度でいいのでサンピラーを見てみたいです。  
サンピラーではないのですが、実は不思議な体験をしたことがあります。  
口で説明するのが非常に難しいのですが真冬の午前中の出来事です。  
阿寒の近くでかなりの雪で極寒の薄暗い山中を車で運転している時、  
突然、周囲がパッと明るくなって降り注ぐ雪と光に包まれたことがあります。  
キラキラ光る降り注ぐ雪とダイヤモンドダスト、周囲は暗いのに私の車の周辺の空間だけが、

まばゆく光輝いているのです。まるでサンビラーにでも入ったかのような。  
 優しい光に包まれるといったそれはそれは美しい光景でした。時間にして数分も無かったでしょうか。  
 後で冷静に考えると、何かの偶然で厚い雲に小さな穴が開き太陽の日差しが私の車の周囲にだけ、  
 一筋の光となって届いたのだと思います。  
 それで降りしきる雪が照らされダイヤモンドダストが輝いたのではないかと。  
 いまとなつては夢ではないかと錯覚しそうな、忘れられない思い出です。

Re: 春よこい！ 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 1月27日(日)10時48分2秒

[返信・引用](#)

カールジョッピンさん、ほんと久しぶりです。

そうですか、札幌でもやはりハズしてますか。  
 確かに札幌は区ごとに細かく予報してるテレビ局もありますから、てっきり当たってるのかなあとと思ってましたが。

旭川は昨日も今日もまた大きく外してますよ。  
 一昨日から昨日にかけては全面雪マークで「強く降る」とも言っていたので覚悟してたんですが、  
 実際は一時降ったもののすぐに止んで、結局薄っすらと積もっただけでした。  
 逆に昨日から今日にかけては殆んど雪マークは出てなかったのに、今朝は雪かきが必要な程度積もってます。  
 しかも今朝の最低気温は-12℃の予想だったのが-7.2℃です。  
 ぜんぜん当たりませんネ。  
 24時間いや、12時間以内の予報すらまともにできてません。

私は常時このサイトを見ています。  
<http://www.jma.go.jp/jp/contents/frameMain.html>  
 これでここ数時間の雲の動きを連続して見れば、その日の傾向はほぼつかめます。  
 天気予報も参考にしながら、このサイトを使って自分の住む地域は自分で予報したほうがよく当たりますよ（笑）

春よこい！ 投稿者: カールJP 投稿日: 2013年 1月26日(土)19時01分23秒

[返信・引用](#)

お久しぶりです。カールJPです。

最近の天気予報がよくハズれる件ですが、激しく同意いたします。  
 猛吹雪マークなのに雪が降らなかつたり、普通の曇りと雪だるまマークで、  
 たいした雪に対しての注意喚起も言っていないのに、朝起きたら雪がどっさり積もっていたり、  
 大雪警報が出ているにも関わらず快晴だったり、大雪が降っているにも関わらず大雪警報が出ていなかったり・・・  
 にも関わらず最近の天気予報はテレビ各局が独自のカラーを出そうと、予報の内容が細かい事細かい事。  
 特に人口の多い札幌圏の細かさは呆れてしまいます。  
 たまに札幌には大雪は降りませんなどと、札幌さえ良ければok的な言い回しで解説する予報士を目にしますが、  
 札幌に住んでいる身としては、お恥ずかしい限りです。

気象予報士制度が予報精度の低下を招いたという疑いもわかる気がします。  
 某元都知事のドラ息子趣味で予報した天気予報に一喜一憂するのも疲れちゃいます。

近年の気象の予報は異常気象の影響や、雪雲の動きも気まぐれな風向き一つで安定しないなど、昔より予報が難しくなっている  
 のかも知れませんが、  
 それなら視聴者に過度な期待や不安を煽るような細かく断言するような今のスタイルの天気予報は辞めて、  
 自然相手の事なので、謙虚な姿勢で、予報を断言する事無く、外れたらごめんなさい的にアバウトに予報してくれた方がハズレ  
 時のガッカリ感も小さくて済む事でしょうし、  
 大抵の市民はその程度の天気予報で十分だと思っている事でしょう。  
 明日の天気も正確に予報出来ないのですから、長期予報なんてもつてのほかです。

今の精度の低さじゃ、気象予報士じゃなくて、競馬の予想屋をもじって気象予想士の方がピッタリですね（笑）

<http://blog.livedoor.jp/miseburo/>

ようやく雪が落ちてきましたね 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 1月23日(水)23時23分15秒

[返信・引用](#)

昨年末よりお天気ネタばかりで恐縮ですが、  
 よくオホーツク海が流氷に覆われると寒いながらも旭川の天気は安定すると言われますが、正にその通りになってますね。  
 気象学的に根拠がある話なのかどうか私も分かりませんが・・・

その気象に関連して最近とても気になる事があります。  
 旭川地方の天気予報の外しっぷりですが、ちょっと酷過ぎる気がしませんか？

今朝の最低気温は-18.2℃でしたが、昨晚の予報では確か-14℃ではなかったかと思えます。  
 先週17日夜の天気予報でも、最低気温は-16℃と発表した数時間後には-20℃に達していました。  
 昨年12月の最低気温-24.4℃を記録した時も予報では-17~8℃に過ぎませんでした。  
 気温ばかりではありません。  
 1月3日の記録的暴風雪が吹き荒れた時も、日本海側には警報が出たものの内陸旭川があそこまで荒れる予報はなかった。  
 私もそうですが、不意を突かれた近所の皆さんも朝あの吹き溜まりに埋もれた光景を見て呆然としてました。  
 成人の日以降連日快晴の見られる好天続きですが、その直前までの週間予報はずっと雪と雲のマークのみ・・・  
 正直言って最近の天気予報はほとんど信用に値しません。

こうまで頻りに、それも大幅な外し方をする事は以前はこれほど多くなかったように思います。  
 最低限、気温はほぼ的中させていて「天気予報の精度も随分と高くなったなあ」と感心していたもんです。  
 放射冷却による気温の急変も普通に予測してました。  
 たぶん気象衛星やアメダスの収集する膨大なデータ蓄積と、解析するスパコンの進歩の賜物なんだろうと思ってました。  
 ところがここ数年前から、天気もまるで当たらなければ気温も誤差1~2度以内に収まらない日がやたら目立ちます。  
 せっかく精度の上がりつつあった天気予報が、ここへ来てどうしてまたこんなに外れるようになったのでしょうか？  
 これも異常気象のせい？

以前の天気予報というのは気象庁の予報官にしか許されなかったそうで、それをそのままテレビなどで流していたそうです。  
 （テレビで天気図などを使って説明をしていたのはあくまで解説であって予報ではないそうです）  
 何年か前に気象予報士が国家資格化され、この資格があれば民間も予報業務が行なえるようになりました。  
 今ではいくつもの気象情報サービス会社が存在し、放送局なども自前の気象予報士を立てて予報や解説を行なっています。  
 ですから基になる気象データは同じでも、局によって予報が微妙に違っている事に気づいている方も多いと思います。

べつにお役所である気象庁の予報官をヨイシヨするつもりはありませんが、

もしかしたらこのせいで天気予報の精度が落ちたのか？  
最近の天気予報のあまりの外しっぷりを見ていると、気象予報士制度導入による質の低下を疑いたくなります。  
あるいはこういった予報サービスが大都市中心で、地方に対するきめ細かさに欠けているのか？  
それともあくまでソースは気象庁で、予報官のレベルが低くなっただけという事なのか？

詳しい実態はよく分かりませんが、とにかく以前より悪くなったという実感だけは感じています。  
ど素人の自分が勝手に予想しての方が当たってるというのは考えモンですよ、天気予報屋さん。^\_^;

新年 投稿者: momonga 投稿日: 2013年 1月 5日(土)20時09分1秒

[返信・引用](#)

明けましておめでとうございます。

この年未年始の旭川は雨やら雪やら、とどめは3日未明の暴風雪・・・  
私も旭川でこれほどの暴風雪が吹き荒れたというのはちょっと記憶にありません。  
過去にドカ雪続きで市内の道路がマヒ状態になった、というのはありましたが、  
たった一晩の雪と風で市内のほとんどの道路が使い物にならなくなったというのは初めてのようです。

まあ、とんでもない荒れ模様で始まったこの一年ですが、  
逆に、除雪車が当面あてにならない中で、人手による雪かきでどんどん綺麗になって行く周り近所を見て、  
まだまだ厳寒雪国に生きる旭川住民パワーを感じた次第です。

皆さま、今年も宜しく願いいたします。



(無題) 投稿者: かんじ 投稿日: 2013年 1月 5日(土)00時04分11秒

[返信・引用](#)

明けましておめでとうございます。  
今年も旭川の謎を調査し続ける事を楽しみにしてゆきます。  
ウィキペディアの間違いかもしれませんが「旭川市立中央中学校」がかつて存在したのか？  
これもまた楽しい謎ですね。  
<http://fb.doukyusei.jp/school/show/68523>  
こんなページもありますけど(^\_^)  
さあ、今年もどどん旭川の疑問を解決してゆきましょう！

Re: 中央中？ 投稿者: taka 投稿日: 2012年12月27日(木)20時00分39秒

[返信・引用](#)

> [No. 696\[元記事へ\]](#)

Isxxさんへ

> takaさんへ

>> 学校のお話が出ていますが 現常盤中学の場所に統合新設される旭川市立中央中学校について調べていた所 全く同名の学校が1960年に廃校になっていました。

>> 市内のどちらにあった学校なのでしょうか？ 情報お持ちの方教えてください

> 追記

> 詳しくは以下のサイトをご覧ください。

> <http://ponsyuto.shime-saba.com/asahikawatyuuou.html>

> 因みに過去に旭川市立中央中学校が存在した事実はありません。

> それから中央小、大成小とも1970年です。

ありがとうございました  
あのウイキペディアも間違っていて結構あるんですね

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93%E4%B8%AD%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E3%81%AE%E5%BB%83%E6%A0%A1%E4%B8%80%E8%A6%A7>

中央中？ 投稿者:lsxx 投稿日:2012年12月27日(木)19時04分49秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

> [No.692\[元記事へ\]](#)

takaさんへ

> 学校のお話が出ていますが 現常盤中学の場所に統合新設される旭川市立中央中学校について調べていた所 全く同名の学校が1960年に廃校になっていました。  
> 市内のどちらにあった学校なのでしょうか？ 情報お持ちの方教えてください

追記

詳しくは以下のサイトをご覧ください。

<http://ponsyuto.shime-saba.com/asahikawatyuuou.html>

因みに過去に旭川市立中央中学校が存在した事実はありません。  
それから中央小、大成小とも1970年です。

Re: (無題) 投稿者:lsxx 投稿日:2012年12月27日(木)18時50分9秒

[返信・引用](#)

> [No.692\[元記事へ\]](#)

takaさんへ

当時、文化会館が建つ前の敷地に中央小学校、イトーヨーカ堂が現在あるところに大成小学校があり、それらが統合され中央橋通りに面してグラウンドがある知新小学校ができました。

私の嫌いな師走 その2 投稿者:momonga 投稿日:2012年12月27日(木)17時51分54秒

[返信・引用](#)

いやあー、前回レスから一週間、よく冷え、よく降りましたねえー。  
超弩級の寒波が来たと思ったら間髪入れずの吹雪とドカ雪。

私の場合、昨日今日で雪かきに要した時間は累計で優に5時間を超えます。  
ママさんダンプいっぱい雪を何十回も運ぶ作業は結構な重労働ですから終わった後も何もする気になれないし・・・  
年末押し迫ってのドカ雪ってのは本当に腹立たしいですね。  
これで私の師走嫌いは決定的になりました。(笑)

ちょっと意外だったのが、12月の-24.4℃というのは何と60年ぶりの寒さなんですね。  
過去に何回もあったような気がしないでもないのですが・・・  
でもさすがに昼くらいまで-20℃前後の気温が続いたから、屋外に出ると肌を刺すようにピリピリ痛かった。  
「旭川に住んで何を甘っちょろい事を」と言われそうですが、  
近年の旭川では寒さのピーク時でも-20度超えがだんだん珍しい事になってきました。

以前にも触れましたが、旭川地方気象台の公式記録では実は昭和29年以降-30℃以下は観測してませんし、  
冬の最低気温の平均値はこの100年で何と10℃も上昇しているそうです。  
つまり明治の頃は、旭川の中心部も江丹別と変わらない寒さだったという事なのでしょうね。

大晦日には何やらまたまた暴風雪の予報が出ています。  
最近の当てにならない天気予報よろしく、是非とも外れてくれる事を切に願うものです。^\_^;  
年末年始くらい穏やかに過ごしたいですね。

私の嫌いな師走です 投稿者:momonga 投稿日:2012年12月20日(木)12時17分32秒

[返信・引用](#)

かんじさん、lsxxさん、ろくにレスもせず失礼しました。  
いよいよ今年も押し迫ってきましたね。

私は12月というのが大嫌いな人間でして、  
あちこちがクリスマスソングで溢れ出すと「やめてくれー」と言いたくなります。(笑)  
仕事にしるプライベートにしる、全てに一旦区切りをつける、なんてのは所詮無理があるでしょ。  
区切りをつけようとするばっかりに結構やらなくても良い無駄な事をやっている・・・  
結果、氣ばかり焦って12月ほど生産性の上がない月はないと思います。  
自分的には数年前から割り切ってるというか、居直って構えてるつもりですが、  
世の中そうも行かないから、逆に自分が置いてきぼりを食らったような気分になる・・・(〜;)嫌いです。(笑)

生産性が上がらない、と言えば、ここ連日続いている雪かき。  
これこそ全く何の生産性もないですね。  
かと言って、ほうっておくと車も出せないから待たなして雪を除けなければならない。  
時間の無駄、労力の無駄、コストの無駄、以外の何ものでもありません。  
道路はひどい事になってるし。  
唯一の良いところと言えば運動不足解消くらいでしょうか。

旭川の場合、12月に一気に積雪が積み上がることが殆んどですから、  
それでなくとも気が急いでる時節にこの作業はまったく余計ですね。  
私が12月を嫌う一因でもあります。

という訳で、何やらグチっぽくなって何を言いたいのかわ忘れてしまいましたが、  
何だかんだと実質あと数日で悪あがきも終わりです。  
皆さんの師走はどんな師走でしょうか。

>takaさん  
中央小学校ではなく中学校ですか？  
私も初耳です。

(無題) 投稿者:taka 投稿日:2012年12月19日(水)11時25分12秒

[返信・引用](#)

学校のお話が出ていますが 現常盤中学の場所に統合新設される旭川市立中央中学校について調べていた所 全く同名の学校が1960年に廃校になっていました。市内のどちらにあった学校なのでしょう？ 情報お持ちの方教えてください

Re: >lsxxさん 投稿者:lsxx 投稿日:2012年12月8日(土)15時58分27秒

[返信・引用](#)

> [No. 689\[元記事へ\]](#)

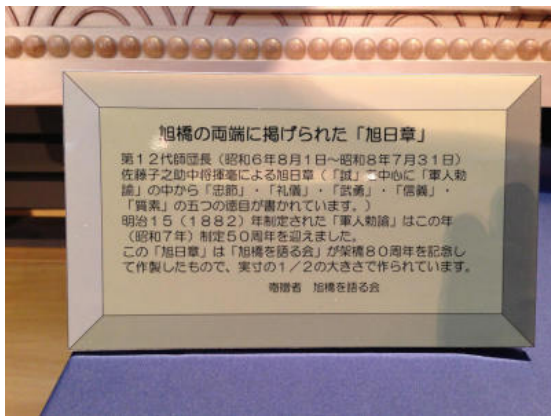
momongaさんへ

昭和12年生まれのお父さんに聞いてみました。旭商出身です。母の従姉が共立女学校(旭大高の前身)ということで市内にあった唯一の私立女学校については少しばかり情報を得ることができましたが、新制市立実業高等学校については父も知らないようです。大正末期から昭和一桁代に生まれた方ならご存じかもしれませんね。

軍人勅諭の大額が北鎮記念館へ 投稿者:かんじ 投稿日:2012年12月5日(水)17時02分30秒

[返信・引用](#)

旭橋80周年を記念して「旭橋を語る会」で製作された軍人勅諭の大額が北鎮記念館に寄贈され展示が始まりました。かなり立派な展示物ですので、皆さん是非ご覧になりに行ってください。場所は順路の一番最後になりますが、これまで小さな軍人勅諭がかかっていたすぐ隣になります。赤いバックで物議をかましたこれまでの額もしっかりかかっていますので是非見比べてください(^)/それと精巧な額ができましたが、木製で無垢であるところから、写真に撮って色付けしてみました。上から、完成時の赤銅色、真中が錆びてきて黒く変色した状態、下が緑青を発生した青銅色をイメージしています。真ん中の色がなかなか良い雰囲気を出しているかなと思います。





> Isxxさん 投稿者: momonga 投稿日: 2012年11月30日(金)12時08分34秒

[返信・引用](#)

お久しぶりです。

こういった事は戦前から旭川に住む年配の方が身近にいればすぐに聞ける事なんでしょうけども、  
 そうでもなければ戦後世代の我々にとってはいちいち調べるのに四苦八苦しますよね。  
 私もやはり直接的には知識がありませんのでとりあえず手元にある『旭川80年の歩み』を開いてみました。

ほんのちょっとだけですが記述がありました。

それによりますと、

戦後の六・三・三制導入と同時に戦前の中等学校は全て新制高等学校に改組され、  
 この時点で市内の高校は、道立5校（内夜間部1校）、市立5校（内夜間部3校）、私立1校、それに道立永山農業高校とあります。  
 その後、市立旭川高等学校が道立に移管、  
 市立女子高等学校（七条高等学校）と市立実業高等学校が廃校となり、  
 市立の夜間部もそれぞれ道立旭川東・旭川商業・旭川工業の定時制となったとあります。

結果、昭和25年時点では、  
 道立旭川東・旭川西・旭川北・旭川商業・旭川工業、私立旭川共立女子の6高校体制になり、  
 戦前からの市立高校は道立移管の旭川北を除き全廃になったようです。

これを見ると、戦前には市立の高校（旧制中学）がずいぶん数多くあったんですね。  
 この中に問題の市立実業高等学校という学校も確かにありますね。  
 旭川商業に吸収されたということは、おそらく商業簿記系の学校だったとは思いますが、  
 残念ながら、これ以上の具体的な記述はありませんでした。

(無題) 投稿者: Isxx 投稿日: 2012年11月28日(水)22時53分54秒

[返信・引用](#)

尋常小学校（国民学校）卒業後進学するといえば旭川東の前身市立旭川中学、旭川北の前身市立旭川中学、旭川西の前身市立高女、北都中の前身市立高女、道教育大の前身旭川師範が戦前存在したのは知っていましたが、戦後63制が始まった直後旭川市立実業高等学校が廃校にともない旭川商業高等学校に吸収と旭商HPにありました。そういえば旭商も旭川商業学校として戦前からありますね。それ以外に私立の学校が戦前あったのでしょうか。63制が始まった直後に旭商に吸収されたとする市立実業高等学校の得体がはっきりしません。旭川市の歴史も語られるこの掲示板でこのもやもやが解決してもらえそうなきがします。あつ、私も市立実業高等学校のことをネットで調べてみましたが、旭川実業（鷹栖神社の前にある）のことしか出てきませんでした。

Re: 「ステツセルのピアノ」 投稿者: momonga 投稿日: 2012年11月23日(金)20時34分52秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

おそらく宗教の影響が大きいのではないかと思います。  
 ロシア正教も同じかと思いますが、  
 キリスト教ではミサや集会で教会へ行けば牧師の説教と併せ聖歌・賛美歌を歌う事が常です。  
 日本でも教会形式の結婚式や葬式に出席すると歌わされますよね。  
 我々には教会といえばオルガンのイメージのほうが強いですが、ロシアではどうなのでしょうね。

彼らにしてあげれば、戦地という、死と直結した場だからこそなおさら神が必要だったと想像します。  
 ピアノは一義的には祈りのための必須アイテムだったと思うのですが、  
 まあ、ロシア人の事ですからウォッカを飲みながらの宴にも大いに役立った事でしょう。

いずれにしても、戦地にピアノを持ち込むという発想自体、



皇帝はもちろんの事、当時師団を率いる将軍クラスも貴族階級であった事と無縁ではないのでしょうか。  
駐留地に夫人を伴うというのも信じ難い事ですが、  
それだけ当時のロシアが強大な軍事力をもって他を圧倒していた証左だと思います。

Re: 「ステッセルのピアノ」 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年11月21日(水)10時32分11秒

[返信・引用](#)

> [No. 685\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 昨日【軍都の面影】に「ステッセルのピアノ」をUPしました。  
> 実に久々のコンテンツ追加です。  
ステッセルのピアノ執筆ご苦労さんでした。  
読みました、面白いですね。  
旭川にあるピアノがステッセル夫人のピアノではないとしても、  
当時戦利品として持ち帰ったピアノであり、これらは俗称としてステッセルのピアノと呼ばれたのですね。  
それにしても当時ロシア軍が戦場にピアノを持ち込むというのはなんと優雅なことでしょう。  
それが武士の美学であったのか、または将軍という地位が異常に高く、  
戦いに赴いても司令部は権力があり、その生活は負けるまで優雅だったのでしょうか。  
デスラー大統領を思い出してしまっただ(^\_^;

「ステッセルのピアノ」 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年11月15日(木)12時14分8秒

[返信・引用](#)

昨日【軍都の面影】に「ステッセルのピアノ」をUPしました。  
実に久々のコンテンツ追加です。

実はこれ、「馬屋に押し込められてきた記念館」中の、ピアノ写真補足説明のつもりで書きはじめたのですが、  
書いている内にどんどん内容が膨らみ、また、ストーリー性もあることから独立したコンテンツに”昇格”させる事にしました。

「ステッセルの・・・」と聞くと、何となく暗い響き・イメージを連想する方もおられるかもしれません。  
「もしかして持ち主の亡霊でも取り付いているのか？」  
私も初めてこのピアノの存在を知った時は、そんな印象だったのを覚えています。いや、今でもそうかもしれない。

確かにステッセル将軍は、降伏して要塞を明け渡した事を本国へ戻ってから糾弾され、その後の人生はかなり悲愴なものであったようですが、  
ピアノ自体には亡霊が取り付くほどの悲惨なストーリーはありません。  
むしろ、ピアノを持ち帰った日本軍の側こそが、何万という犠牲を払った兵達の怨念を込めているような気がします。  
また、戦利品として日本に持ち込まれた後の、全国に散ったピアノが辿った数奇な運命も暗いイメージを増幅させます。

旭川市民には、このようなピアノが地元にも現存しているんだという事を忘れないでほしいと願うものです。  
是非ご一読ください。

[http://homepage2.nifty.com/momonga\\_farm/gunto/stoessel.html](http://homepage2.nifty.com/momonga_farm/gunto/stoessel.html)

Re: 国土地理院大正7年 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年11月1日(木)21時59分40秒

[返信・引用](#)

> 必要であればお貸ししますし、必要部分は画像でアップもしますよ～。

あ、いえいえ、、私も見つけた瞬間にレジへ向かった人ですので・・・(笑)

むしろ私の方がそう言うべきでした。m( )m

国土地理院大正7年 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年11月1日(木)13時25分53秒

[返信・引用](#)

> [No. 681\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> ￥3500はちょっと高いなあ、と思うのですが、一見の価値はあります。  
一見ようと思ったら、袋に入っているのを取り出して見なくてはなりませんでした。  
どうしようか迷っているうちに手がレジのほうへ、、、、。  
か、買ってしまいました。  
でも、会社のお金で、、、、(^\_^;

一緒に付いて来た薄い解説本もなかなか参考になりそうです。  
明治33年、大正7年、昭和31年、昭和49年、平成14年とセットになっています。  
必要であればお貸ししますし、必要部分は画像でアップもしますよ～。  
昭和31年は私も図書館でコピーしてもらったものと同じものでした。

Re: (無題) 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年10月29日(月)22時37分50秒

[返信・引用](#)

> [No. 681\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> ところが数ヶ月前にジュンク堂で、(財)日本地図センター発刊『地図で見る旭川の変遷』というのを見つけました。  
> 今さらながらですが、例の栄川のルーツも、この大正地図を見ると一目瞭然でした(笑)  
> ￥3500はちょっと高いなあ、と思うのですが、一見の価値はあります。

国土地理院の地図なんですね。どうりで見覚えのあるような地図です。  
でもそうなると信憑性は相当に高い地図ですね。  
3500円、、、、。。一見してみます(^\_^;

Re: (無題) 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年10月29日(月)21時00分17秒

[返信・引用](#)

この地図は数年前に図書館でコピーしていただいたもので、  
それには「T7」と図書館の方が付箋紙を貼ってくださっただけで他に情報はありませんでした。

ところが数ヶ月前にジュンク堂で、(財)日本地図センター発刊『地図で見る旭川の変遷』というのを見つけました。  
明治から平成にかけての5部の旭川地図で構成されており、戦前については2部だけですが、  
この中にたまたま図書館でコピーしていただいたのと全く同じ大正7年の地図が含まれていました。

それによりますと、この地図は国土地理院発行の25000分の1地図で、[測図は大正5年]とあります。地図の他には薄っぺらい解説書が添付されているだけなのですが、この解説書、薄っぺらいながらもなかなか根っこいところの記述がされていて、馬鉄に関する記述もありますよ。

今さらながらですが、例の栄川のルーツも、この大正地図を見ると一目瞭然でした（笑）  
¥3500はちょっと高いなあ、と思うのですが、一見の価値はあります。

旭橋80周年所蔵品展 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年10月29日(月)13時36分37秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

市民文化会館、展示室で28日、29日に行われている。  
旭橋架橋80周年記念、所蔵品展に行ってきました。  
メイン展示の軍人勅諭の旭日章ですが、想像よりも立派なしっかりした作りでした。木製ではあるのですが、細かいところまで作り込みがされており、特に5か条の文字の切り抜き加工は素晴らしいです。色を塗ってよりリアルにするという予定ではあったのですが、逆に旭川らしく木製で再現してみた方が良いのではと思えるほどです。これまた悩ましいところですね。屋休み時間帯に行ったのですが、新聞に載ったせいか結構見学者も来ておりなかなかの盛況ぶりでした。添付写真は薄いカバーのかけられた塗装前の旭日章と私の提供した写真と図面の展示風景です。

PS.  
実はこの旭日章の出来が良いからでしょうか、早速北鎮記念館の平塚館長から「北鎮記念館に寄付して欲しい」という話が来ているようです。（未確認）ちょっと虫が良いようにも思えますがねえ〜。最終的にどこかに落ち着くとは思いますが。



Re: (無題) 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年10月29日(月)11時36分52秒

[返信・引用](#)

> [No. 678\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

IMAIさん相変わらずユニークな視点で色々話題を掘り起こして下さいますね。

> 昭和初期以前の地図では、中島遊郭内の区画割りまで載っている地図が意外と少ないんですが、  
> 「旭川区」時代の「大正7年」の地図には詳しく載ってました。

momongaさん、興味深い地図をお持ちですね。大正7年ということですが出所は確かでしょうか？  
といいますが、この地図には馬車鉄道の路線まで明確に描かれています。素晴らしい。  
そして常磐橋、旭橋（初代）ともに馬車鉄道用の橋が併設されているのが見て取れます。  
馬車鉄道開業の時には初代旭橋の上を馬車鉄道が通っており、その後専用橋が併設される事になるのですが、いつから切り替わったのかがハッキリしません。  
その辺りの参考になります。  
また興味深いのは常磐公園に千鳥ヶ池がまだありませんね。  
この辺りの変遷も興味深いです。

Re: (無題) 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年10月27日(土)20時42分39秒

[返信・引用](#)

IMAIさんこんばんは。(^^)v

昭和初期以前の地図では、中島遊郭内の区画割りまで載っている地図が意外と少ないんですが、  
「旭川区」時代の「大正7年」の地図には詳しく載ってました。  
多少精度に欠けると思われるものの、現在の区画とほとんど一致すると思います。

現在の東地区を永山村から編入して市街地として区画整理したのは、  
昭和7年の牛朱別川切り替え工事が終わった後の事ですから、

すなわち中島遊郭の区画が先にあって、その周りの区画整理はかなり後という事ですね。

もちろん区画整理した当期中島遊郭はまだ「現役」でしたし、戦後のいわゆる赤線禁止法ができるまで一部は続いていたくらいですから、結局この界隈だけが、遊郭時代の区画割りそのままに残っているという事なんですよね。



(無題) 投稿者:IMAI 投稿日:2012年10月26日(金)14時56分12秒

[返信・引用](#)

寒くなりましたね🍂

地図を見ていたら 旧中島遊郭界隈だけ

道路のピッチが違うのに気がつきました

遊郭のところが細かい道路割りになっています📍



Re: 旭橋の歴史を語る会 投稿者:momonga 投稿日:2012年10月25日(木)12時13分10秒

[返信・引用](#)

かんじさん、ご案内ありがとうございます。  
私もできるだけ行くようにしたいと思います。

レプリカの色、確かに悩むところですね。  
私はむしろ、当初の色にしないのであれば最終的な青銅色が良いのではないかと・・・  
できれば実物大をつくって、是非とも実際に旭橋に掲げているところを見たいですね。

などと、会の皆様のご苦勞も考えず好き勝手な事言ってますみません。m(\_ \_)m

でも、今後90周年100周年に向けて大額の復元が計画されるとすばらしいですね。  
復元が無理ならせめて一時的な再現でも仕方がない。  
おそらく脊髄反射的に反対する輩が大騒ぎすると思いますが(笑)、  
それが旭橋の本来の姿なわけですし、ランタン灯の復元は良くて軍人勅諭大額はダメというのは道理にかないません。

賛否両論あれど、歴史の事実に現在の思想信条を持ち込んで蓋をしてしまうのは禁物です。

旭橋の歴史を語る会 投稿者:かんじ 投稿日:2012年10月24日(水)12時18分56秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

散々調査し議論を尽くした旭橋の軍人勅諭の大額ですが、遂に形となり日の目を見る事になりました。  
11月18日(日)に花月会館で旭橋80周年記念行事の締めくくりとして「旭橋の歴史を語る会」が開催され、その席でお披露目される事になりました。  
これは80周年を記念して旭橋を語る会の有志が製作するもので、現在鋭意製作中です。  
大きさは実物の2分の1で横が2.3m高さが1m弱のものになります。  
調査から解ったように実物の材質は青銅なのですが、レプリカは木製で製作されています。  
それでもかなりの大きさで青波波の文様も再現し、かなりリアルなものになっていると思います。  
そこで一番の問題はここでも散々調査報告をしていたように「色」なのですが、、、。  
実はまだ決まっています。現在は木のままだになっているそうです。  
調査結果でもわかったように、正式な色は「銅色→黒→青銅色」と変化したと思われるので、では何色にしたらいいんだというのが決まっていないのです。  
悩ましいですね。私的には変化の中間である黒に近いこげ茶がいいかななんて思います。  
当日何色になっているのか決まっていますが、皆さん是非見に来てください。  
「旭橋の歴史を語る会」はNHK的那須局長の映像を交えた話を中心となります。

## 旭橋の歴史を語る会

～NHK旭川放送局長による映像を交えた講演会～

現在の旭橋は昭和7年に架橋され、本年満80歳を迎えます。2月に市内有志が集い、この記念すべき年に事業を企画し、より多くの皆様旭橋の素晴らしさを実感していただくこと「架橋80周年記念事業実行委員会」を立ち上げました。

すでに8月4日には東京から講師をお招きし、記念フォーラム。そして9月9日には旭橋と周辺の形勢群を巡るエクスカーションを実施し、好評をいただきました。そして、10月28日29日の両日、所蔵品展。29日には室蘭工業大学前学長の松岡健一先生をお招きし、記念講演会を開催いたします。

この記念事業の締めくくりがこの「旭橋の歴史を語る会」ということとなります。講師はNHK旭川放送局長の那須敦志氏です。那須氏は旭川のご出身で、旭川に関する様々な資料映像・写真などを基に、市民の皆様これを見ている方で、今回も映像等を交えながらわかりやすく旭橋の歴史について語っていただけるものと考えています。

この機会に是非多くの皆様にご参加いただき、旭橋に関心をお寄せいただければ幸いです。

### 記

と き	平成24年11月18日(日) 午後5時
と ころ	花月会館 旭川市3条通7丁目
か い ひ	無 料
主 催	名橋「旭橋」架橋80周年記念事業実行委員会

以上

### 【申込方法】

申し込みはFAXまたはメールにてお願いいたします。

郵便（メールの場合には氏名）に「歴史を語る会申込」とご記入ください。

氏名・住所・電話番号・入場希望人数をご記入いただき送付願います。

宛先 記念事業事務局

メール shinton@cccaa.ocn.ne.jp

FAX 0166-24-5025

Re: 帯広からの山並み 投稿者: momonga 投稿日: 2012年10月12日(金)17時02分47秒

[返信・引用](#)

帯広側から見た山並み、すんません、私もあんまりマジマジと見た事がないので詳しくないのですが、十勝岳連峰については旭川側から見るのとちょうど逆に並んでるのがほぼそのまま見えるかと思えます。かんじさんの言われる通り、一連の峰の真ん中に十勝岳、右に向かって美瑛岳、美瑛富士、ベベツ岳、そして一番右端がオプタテシケ、峰から外れてさらにその右奥に見えるのはトムラウシかな？ ちょっとこの写真では奥なのか手前の低い山が被ってるのか判別しづらいですね。大雪山系は、旭川から見える峰々は遠いですし、東大雪の山々の影になって全く見る事ができないですよ。

私は3連休の日曜日にロープウェイ使って旭岳姿見の池まで歩いてきました。今年はこの時期になってようやく山の上の紅葉がピークになったようですが、例年より色がくすんでいて、色合いはイマイチでした。旭岳温泉手前の渋滞と、姿見までの人の数が尋常じゃなかった・・・^\_^;

それにしてもさすがに空気が冷たくなりましたね。実は今週ははじめから道外出張だったんですが、帰ってきたらなおさら寒く感じて、とうとう昨晚禁断のスイッチに手を伸ばしてしまいました(笑)

帯広からの山並み 投稿者: かんじ 投稿日: 2012年10月9日(火)13時42分13秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

連休に帯広に行って来ました。8日(月)は風も無く晴天で最高の行楽日和でした。泊まったホテルが幕別温泉グランヴィリオという高台の上にあるホテルだったのですが、朝そこから見える景色が最高でした。旭川からは大雪山連峰や十勝岳連峰が美しく見えますが、帯広から見る山はちょっと違います。先ずは雄大な日高山脈が素晴らしい。さすがに山脈です。高い山並みが果てしなく続いている感じです。他にも多分阿寒の方の山並みも見えますし、旭川方面に目をやると、、、。そこにも美しい山並みが見えます。ところが、旭川方向から見る山並みとは違うので、どの山がどの山なのか良く解らないのです。アップにしてとった山並みが、旭川方面なのですが、たぶんいつもとは配置が逆になっているでしょうから、左側が富良野岳かな、真ん中辺りの高いのが十勝岳、そして右の3つの峰があるのがオプタテシケではないでしょうか？大雪山系は影に隠れて見えないようでした。





Re: 常磐公園の歩み展 投稿者:momonga 投稿日:2012年10月6日(土)12時40分54秒

[返信・引用](#)

協定書の再添付ありがとうございます。m( )m  
これだと文字が判別できますね。  
(でもこの協定書、活字になっていることは原本ではないですよね?)

> つまり公園を作る要求は本当は師団が出したのではなく、旭川町が問題を解決するために、  
> 師団の要求のように見せかけて中島に決めてしまおうという画策です(^\_^;

私もまずそう思いましたよ。  
事あることに対立する五条派と宮下派には、正直町長も手を焼いていたのではないかと想像します。  
それに、それぞれが主張する場所というのは、当時は市街からかなり外れた東旭川村との境付近で、  
人の往来もほとんどないような場所です。

師団としても場所で揉めていたのは知っていたでしょうし、師団とまるで反対側というのも面白くない・・・。  
この際、ついでながらうまいこと町長側と利害一致で画策した可能性はありますよね。

「常磐公園の歩み展」私も時間みて行ってみようと思います。

Re: 常磐公園の歩み展 投稿者:かんじ 投稿日:2012年10月5日(金)16時23分47秒

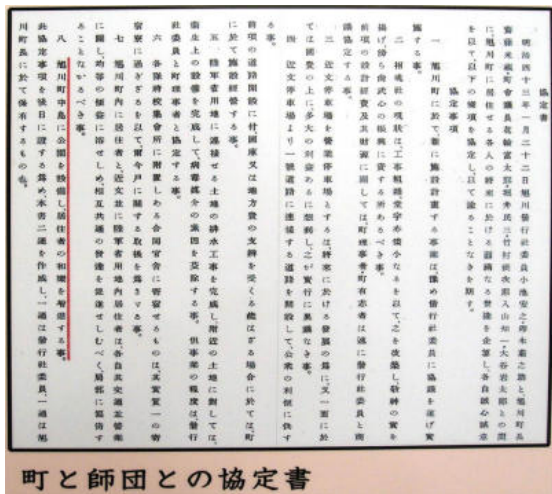
[返信・引用](#) [編集済](#)

momongaさんへ

> ところが町会で立野庄吉さんがとつ然発言を求めて、  
> 師団と町との中間、中島、今の常磐公園の土地を提案してその適地であることを述べ立てる。  
> この意外な新候補地に敵も味方も目を見張る、やがて五条派の友田さんが「賛成」と叫ぶ。

つまりこの町会決定の前に既に協定では中島に公園を作るようになっていたということですね。  
これは旭川町長が師団と結んだ協定ということですので決定事項ですよええ。  
公園の場所をめぐって対立していた事案を解決するために密約をしたのかな？  
確かにこの協定書の中身を見ると7項目までの内容に比べ8項目の中島に公園を作るというのは、  
かなり異質な内容だと思います。  
ということはやはり誰かが仕組んだものかもしれませんね。  
つまり公園を作る要求は本当は師団が出したのではなく、旭川町が問題を解決するために、  
師団の要求のように見せかけて中島に決めてしまおうという画策です(^\_^;

ps.  
綺麗に撮り直した協定書を添付します。



Re: 常磐公園の歩み展 投稿者:momonga 投稿日:2012年10月5日(金)12時02分15秒

[返信・引用](#)

へえ～、協定書がすっかり残ってたんですね。  
これ、たぶん当時は密約だったのでは？

でなきゃ前レスで紹介した、この協定のすぐ後の3月に開かれた町会の様子は明らかに矛盾しますよね。  
ごく一部の者だけが知っていて、協定に沿うよう議会を誘導したと考えれば辻褃が合います。

突然発言を求めた立野さんと、それに呼応した友田さんが全てを知っていたのではないのでしょうか（笑）

まあでも、経緯はともかく、結果的には常磐公園はこの場所が最良の選択だったと思います。不思議なのは、何故に師団が取って付けたように協定の最後に公園なんぞを盛り込んだのでしょうか。やっぱり軍人とはいえ頼いの場が欲しかったということかな（笑）

Re: この石畳は？ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年10月4日(木)23時01分58秒

[返信・引用](#)

> [No. 667\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> アスファルトとかコンクリートでないという事実だけでもかなり古い舗装であるのは間違いないですよ。

ありがとうございます。

もし本当に明治期の古い物であるなら、わたしなら造成後の路面の高さが同じならそのまま残すし、

高さがあがるなら撤去せずにそのまま埋めるとか、何とか後世に残る様にしますね。

時間が経てば経つほど価値の増す物ってありますよね。

今が全てじゃないと思うんですよ、過去の積み重ねがあつての今があるんですから。

懐かしむという意味じゃなく、過去を知ってこそ今を知るのが本質を知る事だと思っんですよね。

この石畳が古いと言ってもどんなに古くとも100年でしょう。

添付の写真は7月に行つて来たイタリアの石畳ですがローマ時代つまり2000年も前の石畳です。

町を新しい物に更新してゆく事は重要ですが、残すべき物は残してゆく事によりどんどん町の深みが増すって思っんです。

愛着や思い入れってそれぞれの人の思い出の中に生まれるものですよ。

歴史を大切にしたいものです。



Re: 常磐公園の歩み展 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年10月4日(木)17時17分6秒

[返信・引用](#)

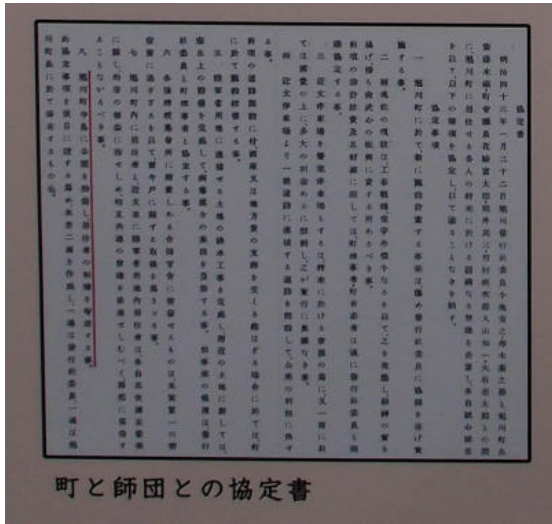
> [No. 666\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

説明文には「あまり知られていない」と書いてありましたが、さすがにmomongaさん。

協定書というものも展示に含まれていましたので添付します。

ピントがまいちだった、、、(;\_;)



Re: この石畳は？ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年10月3日(水)23時43分20秒

[返信・引用](#)

あの辺りは古くから倉庫街でした。  
30年くらい前までは今の北彩都病院の場所には日通、それに並んで旭川通運などもあって、  
国鉄時代までは宗谷線沿いに貨物ヤードがあり、倉庫が並んでました。  
倉庫は明治期につくられたレンガ倉庫をそのまま使ってるものも多かったのですが、  
今残ってるのは上川倉庫のみになりましたね。

たぶん、まだ馬車が多く使われていた時代の舗装なのでは？  
当時道路はほとんど未舗装でしたが、せめて倉庫周りだけでも舗装したのではないのでしょうか。  
アスファルトとかコンクリートでないという事実だけでもかなり古い舗装であるのは間違いないですよ。

Re: 常磐公園の歩み展 投稿者: momonga 投稿日: 2012年10月3日(水)21時59分40秒

[返信・引用](#)

明治42年末から43年初頭にかけて、師団参謀長が近文地区の住民を焚きつけて旭川からの分村騒動を起こしてますね。  
理由は、師団地域のインフラ整備はすべて師団の力に頼りながら課税は一般並みで、  
これを軽減するはずの約束が守られなかったというものです。  
結局旭川側が平謝りに謝って色々な条件をのんで収まったものの、  
参謀長が焚きつけておきながら近文住民にはこの和解を知らせなかったため、  
いきなり梯子を外された近文住民が怒って「参謀長腹を切れ！」と日本刀を持って詰め寄ったという逸話が残っています。

この記述は村上久吉著「旭川市史小話」によるものですが、  
この時の条件に常磐公園の場所も含まれていたとすれば、多少矛盾する気がしないでもないですが、  
常磐公園の場所決定について、村上氏は下記のように記述されています。

明治三十四年五月、まだ戸長時代にすでに村制実施準備委員会が公園の候補地として、  
常時司令部台といわれた四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十丁目の師団所有地と定め、翌年から、  
師団側でも承諾はするが、将来この地は発展して一円ぐらいいいから、翌年から、師団側に換地方を願出る。  
それに相応する換地をなすに、これを主とする五派と、辻、立野、中、宮、下、宮、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十丁目の地を主として、  
当時町会はずつてこの二丁目を今も固く守る。この土地を提議してその適地であるこの地を述べ立てる。  
師団と町会との新候補地に敵味方も見張る、やがて五派の友田さんが「賛成」と叫ぶ。  
この意外な候補地に敵味方も見張る、やがて五派の友田さんが「賛成」と叫ぶ。  
堀井議員は洪水の危険をいって討論始めたが、結局この提案が通過して、今の公園の基礎が決定する。

この石畳は？ 投稿者: かんじ 投稿日: 2012年10月2日(火)20時45分21秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

現在、旭川駅前の駐車場と駅前広場を造成する工事が行われていますが、そこに変わった物を発見しました。  
古い石畳のようです。場所は駅前交番の直ぐ裏、大きさは3m四方くらいでしょうか。

いつの時代のものかな？

ひょっとして超古い時代の貴重な遺構では！大発見か！

なんて思いましたが、定かではありません。

ただ、似たような石畳はレンガで出来た蔵囲夢のそばの通りにもありますね。

そんなに古い物ではないのかな。

仮に貴重な物なら壊す前には非出所が知りたいものです。

どなたか記憶にある方いますか。





常磐公園の歩み展 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年10月2日(火)20時04分39秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

旭川市常磐館（文学資料館）で行われているNHK主催の展示会  
愛されて100年「常磐公園の歩み展」を見てきました。  
パネル展示とNHKの映像展示でしたが、規模は小さいもののなかなか興味深かったです。  
私は昭和25年に開催された北海道大博覧会の映像が一番見たかったのですが、  
最初に常磐公園の過去のNHKの映像が30分以上あり、その後続いた22分間の映像にはちょっとだらけてしまいました。  
敗戦からわずか5年で行われた大博覧会がどんなものだったのか、なぜ旭川で開催されたのかなど疑問は多いのですが、  
開会式にGHQの様な外人が映っていたり、河畔会場では動物園が開催されたり、当時珍しかったであろう  
象が旭川に歩いて現れたり、当時としては皆大騒ぎだったのだらうと想像されました。  
本当はフィルムを借りて止めたりしながらじっくり見たいところなのですが、そこは一度だけサラッと見るだけしかかないませ  
んでした。  
もう一回行くかもしれませんけどね。  
パネル展示で興味深かったのは、常磐公園が出来たいきさつとして、第七師団と旭川市との間に税金のトラブルがあり、  
第七師団が旭川市から分離独立するような話になったのだそうです。  
結果としてそうしない条件として第七師団が突きつけた8項目の要求の中に、中島に公園を作る事という要求があり  
当時公園をどこに作るかも決めていたなかで、今の位置に公園を作る事になったという事です。

もう一つ、展示されていた写真の中に私が探していた、初代旭橋に馬車鉄道が走っている様に見える  
証拠写真を見つけたのでそれが非常に嬉しかったです。  
添付写真は牛朱別川改修前の貴重な航空写真です。  
馬車鉄道用の橋が横に付いた常盤橋という貴重な様子も見られます。



一木支隊 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2012年9月14日(金)22時39分43秒

[返信・引用](#)

先日、東京の知人とのやりとりの中でこんなことを聞かれました。

「今年は一木支隊全滅70周年だけど旭川では何かやるの？」

う～ん、そう言われてみれば地元ではまったく話題にもなりません・・・

一木支隊とは・・・  
一木清直大佐率いる第七師団歩兵28連隊を基幹とした、本来ミッドウエイ上陸作戦のために編成された精鋭部隊のことで、  
海軍がミッドウエイ海戦で敗北したことから作戦中止、本土へ戻るはずが飛行場奪回のため急遽ガタルカナル島へ派遣されまし  
た。  
ところが待ち受けていた米軍は、一木支隊と同程度と見積もられていた2000人などではなく、完全に陣地構築した10000人を超え  
る大兵力でした。  
そうとは知らずに上陸して攻撃を仕掛けた一木支隊の顛末は、隊旗を燃やし一木大佐も戦死して全滅するという悲惨なものでし  
た。



当サイトでもちょっとだけ触れていますが、この一木支隊全滅があった70年前の8月下旬から9月にかけて、歩兵28連隊のあった旭川の留守隊舎では奇怪な出来事が相次ぎます。最も有名な話が、夜中に抜刀した馬上の将校率いる中隊が隊列を成して隊舎に戻って来るのを複数の歩哨が目撃し、敬礼をもって向かい入れたという話です。この事は連隊副官にも報告され、しかも1日だけではなく数日間続いたという事です。もちろんこの時点で一木支隊の全滅など誰も知る由はなく、師団ではおかしな風評の防止に躍起になったという事です。

今書店に並んでいる「歴史群像」10月号にこの逸話が載っています。

それはそうと、下の不気味な絵は北鎮記念館に展示されているもので、昭和18年5月、大本営に見捨てられながらも圧倒的勢力の米軍に最後の突撃を敢行し全滅したアツ島守備隊を描いたものです。「玉碎」という言葉が使われるきっかけになった悲慘な戦いです。

一木支隊の兵霊たちが旭川の連隊兵舎に戻って来た時も、おそらくこのような顔をしてたのでしょう。

食ベマルシェのような楽しいイベントも大いに結構です。しかしながら私は、冒頭の知人の言葉を聞いた時、一木支隊がまた旭川に戻ってきてくれればいいな、と思ったのも事実です。



Re: 今日「国見」の日 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2012年 8月29日(水)12時33分10秒

[返信・引用](#)

> [No. 659「元記事へ」](#)

momongaさんへ

- > 私はこの8月27日を、旭川市の記念日として設定してもよいのではないかと思います。
- > 旭川市民にちょっとでも自分のマチの生い立ちについて覚醒してもらうためにも、
- > そういった事が必要なのではないかと思います。

大賛成です。  
旭川はもっと歴史と成り立ちを大切にする必要があります。  
先人の遺構を大切に出来ない人が、長く残るものを作れるわけが無い。  
高田さんとも話していたのですが、市の条例のようなもので、歴史的価値のあるものはとらずに残すための検討をしなければいけないという事に出来ないでしょうかね。

第七師団司令部前の門柱が、ギリギリのところ破壊を免れましたが、間に合わず壊されて無くなってしまったものが多々あることでしょう。

例えば国道40号線沿いの藤高の向かい、旭川健康ランドの側の歩道橋の脇に、門柱が1本立っています。これはかつての第七師団の工兵隊の門柱に違いありませんが2本あったであろうその片方は健康ランドが作られた時になんの躊躇も無く取り去られてしまったようです。残る一本もたまたま残っているようで風前の灯ですね。こういった遺物も取り壊す前に、必ずしかるべき部署との協議を行うとか取り決める条例ができないものではないのでしょうか。まずは残す検討をする、そして残せ無い場合でも、そこにかつて〇〇なものがあったという事が何らかの形で迎えるようにするのが、未来の旭川人の為への今の私達の役割のような気がするんですけどねえ。

今日は「国見」の日 投稿者: momonga 投稿日: 2012年 8月27日(月)12時26分23秒

[返信・引用](#)

8月も間もなく終わりだというのに真夏と同じ暑い日が続きますね。しかも本州並みに湿度も高く、朝晩もあまり気温が下がらない。およそ寒暖の激しい本来の旭川の気候とは程遠い状況です。

昔でしたら、盆を過ぎれば一雨ごとに気温が下がって空気も爽やかになり、8月の終わり頃にはもうすっかり秋の気配が感じられたものです。近年の傾向としてやはり北海道の夏も長くなっている気がします。その分冬が短くなってくれればありがたいのですが、これはそうでもないなあ・・・

さて、127年前の明治18年(1885年)8月27日、つまり今日ですが、岩村通俊、永山武四郎をはじめとする視察団一行が石狩川を遡って神居古潭を超え、いわゆる「近文山からの国見」を行なった日です。北海道の真ん中に広がる未開の大原野を初めて目の当たりにして、岩村通俊はここが「京」と成り得る事を確信し、永山武四郎は一大軍事拠点を発想しました。

この時の様子を絵にしたのが、当サイトでも随所で使用している「国見の図」です。この絵を見ると、どうでしょう、すでに秋を感じないでしょうか？

そうです。私には紅葉を描いてるとしか見えないのです。

いくら昔の方が寒かったとはいえ、いくらなんでも8月中の紅葉はないと思いますが、そのくらい昔と今では気候に差があるという事を感じさせられる絵です。

私はこの8月27日を、旭川市の記念日として設定してもよいのではないかと思います。永山武四郎の名は、永山の地名や橋の名として残っていますが、岩村通俊に関しては、そういった名を冠するものがいっさい何もない・・・これは旭川開基の最大の功労者に対してあまりにもさみし過ぎる。

旭川市民にちょっとでも自分のマテの生い立ちについて覚醒してもらうためにも、そういった事が必要なのではないかと思います。



「国見の図」  
作者 大橋 豊 (昭和17年完成)  
所 有 上川生産農業協同組合連合会  
所 蔵 陸上自衛隊第2師団北嶺記念館  
オリジナルのものに画像補正を施してあります

Re: 「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: momonga 投稿日: 2012年 8月22日(水)21時32分56秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

おお？  
北海道出身さん、笠原家の子孫ということですか？  
こりやまた驚きです。

これは2010年の、やさそぼちゃんさんへのレスですよ？  
[http://9008.teacup.com/momonga\\_farm/bbs/375](http://9008.teacup.com/momonga_farm/bbs/375)

笠原酒造は旭川開村とほぼ同時期に蔵を興した旭川の酒造りの草分け・・・  
もし御家に伝わる『ならでは・・・』の情報をお持ちでしたら是非ご披露頂ければ嬉しいです。m(\_)\_m

Re: 「旭川？ここは忠別じゃないのか？」について 投稿者: 北海道出身 投稿日: 2012年 8月22日(水)18時14分36秒

[返信・引用](#)

鈴木亀蔵の碑は、旭川市亀吉2条2丁目3 亀吉公園内にあります。グーグルでも形は確認できます。  
笠原喜八は自分のひいじいちゃんです。ちなみに単身赴任ではなかったと聞いてます☆彡

《前のページ》 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 《次のページ》

以上は、新着順901番目から950番目までの記事です。

/ 32 ページ移動

新着順  投稿順

[【論・旭川】HPへ戻る](#)

[管理者へメール](#)

管理者メニュー

自分の投稿の編集

[teacup.レンタル掲示板](#)